

issue+design、地域の課題解決人材を育てる

# 「地域みらい大学」

2015年度開催希望地を全国から5か所募集開始

『社会の課題に、市民の創造力を。』をテーマに、社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決する「issue+design」は、株式会社博報堂、グラムコ株式会社、NPO法人ミラツク他と共同で、ソーシャルデザインの手法を使って地域の課題を解決する人材を育成する「地域みらい大学」の2015年度開催希望地を、全国から5か所募集開始いたします。

人口減少、超高齢化、地域産業の衰退など、地域が抱える様々な課題を、地域を巻き込みながら解決するために、今、求められているのがソーシャルデザインです。

「地域みらい大学」は、このソーシャルデザインの手法を理解・活用し、地域の課題を解決していく人材を育成することを目的としたソーシャルデザインスクールとして、2014年に開講いたしました。

2015年度は、2014年度のカリキュラムを更にバージョンアップさせ、地域プランディングコースなど、5コースおよびオリジナルコースをもうけています。

2014年9月より、「地域みらい大学」の開催を希望する地方自治体を、全国から募集し、応募頂いた自治体と個別にプログラム内容を検討のうえ、2015年4月以降、順次各地で開催していく予定です。

「地域みらい大学」2014年度は、東京にてオープンスクールを開校した他、北海道日高町（ヤマメを活用した産業振興）、千葉県銚子市（住民参加による観光ガイドブック制作）、富山県氷見市（地域ブランド構築とマーケティング人材育成）、高知県佐川町（行政・市民一体でつくる総合計画）、兵庫県神戸市（ソーシャルデザイン全般）の5地域で現在開催中、更に京都府京都市にて開催準備中です。

今後も、ソーシャルデザインを通じた地域活性化を担う人材育成を行う「地域みらい大学」を、積極的に全国で展開していく予定です。



<http://socialdesignschool.jp/>

## ■問い合わせ先

issue+design「地域みらい大学」事務局 担当：筧、白木、岡本、小菅

TEL：03-6441-7752 E-Mail：[info@issueplusdesign.jp](mailto:info@issueplusdesign.jp) HP：<http://issueplusdesign.jp>

## 【概要資料】

地域みらい大学2015年度開講予定コース <http://socialdesignschool.jp/>

2015年度は以下の5コース（各コース1.5時間×10回）、およびオリジナルコース（回数や時間等は自由）を開講予定です。

### ●ソーシャルデザイン実践コース

医療・福祉・教育・育児・防災など、地域が抱える社会課題を解決するために必要なソーシャルデザインの方法論を学び、実践するコース。

### ●観光コンテンツコース

地域経済を支える「観光」。その活性化のために必要な特産品、ツアー、体験プログラム、情報コンテンツ（ウェブやガイドブック等）をデザインするコース。

1	ソーシャルデザイン概論	基本的な考え方、コースの全体像の講義
2	フィールドワーク実施	課題に直面している住民のインタビュー、生活観察
3	課題の構造化と抽出	フィールドワーク結果を共有し、課題を構造的に整理
4		
5	アイデア発想	アイデアを生み出す3つの発想法を学び、課題を解決するためのアイデアの種を大量に発想
6		
7	プロトタイピング	アイデアを試作（シナリオ化もしくはモノづくり）し、実現に向けた課題を明らかにし、完成度をあげる
8		
9	企画を表現する	企画を言葉とビジュアルで効果的に伝える方法を学ぶ
10	最終プレゼンテーション	プロジェクト成果をステークホルダーに発表

### ●地域起業化育成コース

自分の手で仕事をつくり、生計をたてられる人材=地域起業家を育成するコース。

1	ソーシャルデザインと観光	基本的な考え方、コースの全体像の講義
2	観光資源の発掘	魅力的な観光コンテンツに育つ可能性のある地域に眠る資源を発掘、可視化
3		
4		
5	アイデア発想	地域資源の魅力を引き出し、観光客や消費者に支持されるコンテンツのアイデアを発想
6		
7	プロトタイピング	アイデアを試作（シナリオ化もしくはモノづくり）し、実現に向けた課題を明らかにし、完成度をあげる
8		
9	企画を表現する	企画を言葉とビジュアルで効果的に伝える方法を学ぶ
10	最終プレゼンテーション	プロジェクト成果をステークホルダーに発表

### ●地域ブランディングコース

観光客の誘致、リピーターの獲得、特産品の販売価格や販売量のアップにつながる地域ブランド。  
地域の資源を発掘し、ターゲットを定め、言語化・ビジュアル化する、ブランドを体現する情報発信（ツール、メディア、空間、イベントなど）の方法を学ぶコース。

1	ソーシャルデザインとブランド	基本的な考え方、コースの全体像の講義
2	ブランドとは	ブランドに関する基本的な考え方、つくり方の理解
3	ブランド資源の発掘	地域ブランドを構成する地域の資源を発掘
4		
5	コンセプト設計	ブランドのターゲット（象徴的顧客）、バリュー（提供価値）・ビジョン（未来像）、人格（イメージ）を設計
6		
7	メッセージ開発	コンセプトを地域内外に発信するための言葉を開発
8	体験シナリオ開発	ターゲットの行動と体験をシナリオ化し、各シーンごとでるべきアクションプランを設計
9		
10	最終プレゼンテーション	プロジェクト成果をステークホルダーに発表

### ●計画・ビジョンづくりコース

住民、行政と一緒に、地域の未来ビジョン、総合計画を作るコース。（本コースのみ三部制となります。一部のみ実施も可）

### ●オリジナルコース

上記5コースの構成要素の組み合わせや独自のアンケート調査、ヒアリング、ワークショップの実施、特別なプログラム提供などにも対応します。

## ■想定している参加者

- ・地域の課題解決が業務である自治体職員
- ・地域の産業を担う事業者や課題に直面している市民
- ・ソーシャル領域の事業開発に取り組む企業社員
- ・ソーシャルデザインのスキルを学びたい学生、起業家

## ■運営主体および開催地

地域みらい大学は特定の場所をキャンパスとする学校ではありません。運営主体は市区町村・都道府県等の地方自治体、もしくは事業者であり、開催地はその地域のいずれかの場所になります。